

八盲 オリンピック・パラリンピック通信

Smile For Everyone



東京都立八王子盲学校長 山岸直人

第5号 (令和3年7月20日)

いよいよオリンピック開会式があと3日、パラリンピック開会式が1か月少となりました。開会式に先駆け、女子サッカーなどの競技が明日スタートします。セレモニーは、どんな演出になるのか楽しみです。

令和3年度オリンピック・パラリンピック通信も、オリンピック・パラリンピック教育の取り組みを紹介していきます。

◆幼稚部での活動紹介～言葉遊びから～

幼稚部ではオリンピック・パラリンピック教育の取り組みとして、毎週言葉遊びの時間に「外国語の歌」を取り入れて異国の言葉を口ずさんでいます。

「Seven Steps」では、鈴のついたスティックでリズム打ちをしながら楽しんだり、手遊び「ぐーちょきぱーでなにつくろう」の英語バージョン



ことば遊びの様子

「Rock. Scissors. Paper」を行ったりしています。♪Right hand Rock Left hand Rock Odango ♪ それぞれの英語と日本語での「ぐーちょきぱー」がみんなしっかりマッチできていたり、お団子は英語でもお団子なんだとびっくりしたりしながら国際感覚を磨いています。

◆高等部での活動紹介～多様性について理解を深めよう～

4月23日(金)から6月4日(金)までの総合的な探究の時間に、オリンピック・パラリンピック教育調べ学習を行いました。

「多様性」をキーワードに、「オリ・パラのレガシー」、「オリ・パラ給食」、「オリ・パラの歴史」、「車いすバスケットボール」、「世界の音楽」の5つのテーマを調べました。班毎に、テーマに応じた話し合いをし、ICT機器を用いて情報収集したり、太鼓の演奏やフラダンスの練習をしたりして報告会に臨みました。

本番では発表形式・説明・音楽や衣装の工夫をし、事前に準備してきたことを報告しました。夏に開催が予定されているオリンピック・パラリンピックの理解を深める良い機会になりました。



事前学習・オリ・パラ給食



事前学習・歴史



事前学習・車いすバスケットボール



事前学習・世界の音楽



報告会・オリ・パラレガシー

◆リレートーク 東京パラリンピックブラインドサッカー日本代表 黒田智成先生

私は6歳の時に失明しました。それから35年あまり、全盲として生きてきました。平成16年に八王子盲学校に着任して以来、社会科の教員として勤務してきました。どのようにすれば、見えない・見えにくい生徒にとって分かりやすい授業になるか、日々思考錯誤しながら、忙しくも充実した毎日を過ごしています。

教員としての仕事と平行して、私はブラインドサッカーのプレーヤーとしても活動してきました。ブラインドサッカーとは、フットサルのルールを基本として、視覚障害者のために開発された、1チーム5名でプレーするスポーツです。教職を目指して大学院で学んでいた2002年にブラインドサッカーと出会いました。それ以降、現在まで、日本代表として活動を続けてきました。教員の仕事とブラインドサッカーの活動の両立は、体力面においても、時間の面においてもなかなか大変です。しかし、この二つの面を擁立しているからこそ得られる喜びもたくさんあります。

私の夢は、「世界一」になること。せつかく視覚障害者として生きているのだから、その中の世界一になりたい。ブラインドサッカーで世界の強豪と戦って行く中で、私の中に芽生えてきた大きな夢です。

いよいよ今年の8月24日に東京パラリンピックが開幕します。コロナ禍の難しい社会状況の中、開催に対する様々な意見がある中での大会となります。「やるからには、やって良かったと思ってもらえるような、大会にしなければならない。」大会に出場する選手の一員として大きな責任を感じています。

私がこれまでずっと追いつけてきた夢の舞台が間近に迫ってきました。「最高の舞台で、最高の相手と、最高の試合をする、そして世界1になる」。無謀なほどの大きな夢を掲げ、全力でチャレンジして行きたいと思っています。

私が夢に向かって、世界を舞台に戦っている姿を生徒たちが身近に感じ、生徒たち自身が大きな夢を持つきっかけになれば、教員としてとても幸せなことです。



プレーする様子

◆八盲0Bのパラリンピック代表内定の紹介

・日向 賢氏 (ひなた さとる)

卒業年度；平成14年度本校高等部普通科卒業

競技種目；ブラインドサッカー



・若杉 遥氏 (わかすぎ はるか)

卒業年度；平成22年度本校中学部卒業

競技種目；ゴールボール



・川嶋悠太氏 (かわしま ゆうた)

卒業年度；平成24年度本校高等部普通科卒業

競技種目；ゴールボール

